

～仁淀川町人事行政の運営等の状況～

毎年、前年度における人事行政の運営等の状況を公表することとなっています。
今年度の公表は平成21年度の状況となっています。

人事行政の運営等の状況とは、
○職員の内任・職員数に関する状況
○職員の給与の状況
○職員の勤務時間その他の勤務条件の状況
などのことをいいます。

1 職員数の状況（各年4月1日現在）

町村名	部門	職員数		対前年増減数
		平成22年	平成21年	
仁淀川町	一般行政部門	116	121	▲ 5
	特別行政部門	17	18	▲ 1
	公営企業等会計部門	31	33	▲ 2
	合計	164	172	▲ 8

〈注1〉職員数は、一般職に属する職員で、教育長を含んでいます。
〈注2〉「特別行政部門」とは教育関係、「公営企業等会計部門」とは診療所、水道、介護等の関係の事です。

2 給与の状況

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (21年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 20年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
21年度	6,956	8,015,859	178,435	1,203,178	15.0	17.8

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
	人	千円	千円	千円	千円	千円
21年度	138	485,607	55,085	180,779	721,471	5,228

(3) 一般行政職の平均年齢、平均給料月額および平均給与月額の状況（22年4月1日現在）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
仁淀川町	42.8歳	318,800円	347,170円
国	41.9歳	325,579円	395,666円

(4) 主な手当の状況（22年4月1日現在）

手当名	内容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績（21年度決算）
扶養手当	扶養親族のある職員に支給	同	—	18,900千円
住居手当	住宅を借り受け、家賃を支払っている職員等に支給	同	—	5,573千円
通勤手当	片道2km以上で、車等により通勤している職員等に支給	異	交通用具使用の上限額 11,300円（国は24,500円）	9,275千円

3 勤務時間その他勤務条件

(1) 勤務時間

一般的な職員勤務時間は、次のとおりです

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
開始時刻	午前8時30分
終了時刻	午後5時15分
休憩時間	午後0時から午後1時
週休日	日曜日、土曜日



(2) 休暇の種類

休暇には、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇、介護休暇等があります。

休暇の種類	事由	期間	備考
年次有給休暇	1年ごとに付与する休暇	年20日	
病気休暇	負傷または疾病のため療養する必要がある場合	私傷病の場合 引き続き90日以内	
特別休暇 (主なもの)	選挙権その他公民としての権利を行使する場合	必要と認める期間	
	裁判員、証人、鑑定人、参考人等として国会、裁判所、議会その他官公署へ出頭する場合	必要と認める期間	
	結婚する場合で、結婚式、旅行等の行事	連続する5日の範囲内	
	6週間以内に出産する予定である女子職員	申し出た期間	
	女子職員が出産した場合	出産日の翌日から8週間を経過するまでの期間	
	親族が死亡した場合で、葬儀、服喪その他の行事等	親族に応じて別に定める日数の範囲内	配偶者、父母7日、子5日等
	夏季における盆等の諸行事など	連続する3日の範囲内	7～9月の期間
災害により出勤することが困難な場合	必要と認める期間		
介護休暇	配偶者、父母、子、配偶者の父母などで、負傷、疾病または高齢により日常生活を営むのに支障があるものを介護する場合	2週間以上6か月以内の期間	

詳細は、仁淀川町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

ホームページ <http://www.town.niyodogawa.kochi.jp/>

鳥インフルエンザの対応と結果

一月二十五日、町内で発見されたオシドリから、強毒性の高病原性鳥インフルエンザが検出されました。

このことを受け、環境省は二月上旬に発見場所から半径十^〇キロ圏の大渡ダム湖などで野鳥のふん便調査を実施し、オシドリを中心にふん二百六十一個を採取しました。

集めたふん便は国立環境研究所（茨城県つくば市）でウイルスの有無を判定し、その結果、強毒タイプを含む鳥インフルエンザは検出されませんでした。

環境省は「現地周辺の野鳥の感染状況は高密度ではない。しかし今回検出されなかったことをもって、ウイルスを保有していないことを証明するものではなく、渡り鳥がいなくなるまで警戒は続ける」としています。

- ・鳥インフルエンザウイルスは、口からの経口感染で消化管から体に入ることはありません。
- ・鳥インフルエンザウイルスは通常の加熱調理（70度以上）で簡単に死滅しますので、加熱調理した鶏肉や卵を食べても感染する心配はありません。
- ・鳥インフルエンザは、普通に生活していれば人がかかることはありません。野鳥のふんなどが手に付いたときは、きちんと手洗い・うがいをしていただければ、過度に心配する必要はありません。



皆さまのご理解とご協力をお願いします。